

[Daily 日本史]

【問】 以下に掲げる文章は近世・近代において科学関係で活躍した人物についての説明である。

これらの文章を読み、後の問に答えなさい。(聖心女子大学 文 2003)

- A. 江戸時代の暦学者でももとは囲碁の棋士。江戸幕府初代の天文方を務める。初名は安井算哲。平安時代から使われてきた宣明暦の誤りをただし(ア)暦を作った。
- B. 多分野にわたる活動と業績で知られるが、ももとは⁽¹⁾本草学者。寒暖計・火浣布を製作したが、最も名高いのは(イ)の名で知られる摩擦起電機の製作と土用の丑の日のエピソードである。洋画や戯作などの創作も行なった。
- C. 甘藷(さつまいも)の栽培で有名な(ウ)に蘭学を学ぶ。杉田玄白とともに『解体新書』を訳述し、西洋医学の導入に貢献した。蘭学への熱意から、「蘭化」とも呼ばれた。
- D. ⁽²⁾シーボルトに蘭学・医術を学ぶ。『戊戌夢物語』を著わしたため、⁽³⁾蛮社の獄にあう。牢に火を放って逃亡し各地を流浪したが、江戸で捕り方に襲われ、非業の死を遂げた。
- E. 近代日本における細菌学の大家。ドイツのコッホの高弟。さまざまな病原菌の発見や細菌性疾病の治療法の開拓で知られる。研究機関として(エ)を設立したが、国営化されたため、あらためて私立の研究機関を設立した。
- F. 生化学者で東京帝国大学教授。米ぬかからビタミンB₁を抽出し(オ)と名づけた。「江戸わずらい」などと呼ばれた脚気はこの栄養素の欠乏が原因である。のちに⁽⁴⁾理化学研究所の創立に携わった。
- G. 土星型原子模型で知られる(カ)の指導で磁気の研究を始め、のちに冶金学を修める。強力磁石鋼として著名な(キ)を開発した。昭和12年(1937)には師とともに第一回文化勲章を受賞した。
- H. 偉人伝の主人公としてあまりにも有名な細菌学者。子供のころ火傷を負った手を手術してもらったことから医学を志す。(ク)病の研究のためアフリカに渡ったが、この病気に感染して死亡した。
- I. 明治・大正時代の化学者で、主としてアメリカで活躍した。⁽⁵⁾消化酵素複合体や副腎ホルモンを抽出したり、薬品として実用化したことで今日に名を残す。

問1. A～Iは誰か, その姓名を答えなさい。

問2. 空欄ア～クに適切な語句を入れなさい。

問3. 下線部(1)～(5)について下記の問題に答えなさい。

- (1) 「本草学」とは何か, 簡単に説明しなさい。
- (2) シーボルトが日本人に西洋の学問の知識を伝えるために開いた私塾の名前を答えなさい。
- (3) 「蚕社の獄」とは何か, 簡単に答えなさい。
- (4) 「理化学研究所」とはどのようなものか, 簡単に説明しなさい。
- (5) この人物が抽出, 実用化した著名な物質を二つ挙げなさい。

【解答】

問1 A 渋川春海 B 平賀源内 C 前野良沢 D 高野長英

E 北里柴三郎 F 鈴木梅太郎 G 本多光太郎 H 野口英世

I 高峰讓吉

問2 ア 貞亨 イ エレキテル ウ 青木昆陽

エ 伝染病研究所 オ オリザニン カ 長岡半太郎

キ KS 磁石鋼 ク 黄熱

問3

- (1) 中国から伝わった薬物学。動植物や鉱物の分類から博物学へ発展した学問。
- (2) 鳴滝塾
- (3) モリソン号事件を批判した高野長英・渡辺崋山らの蘭学者に対し行われた弾圧。
- (4) 物理・化学の研究およびその応用研究のため、1917年設立された民間の研究機関。のちに理研コンツェルンを形成。
- (5) アドレナリン、タカジアスターゼ